

「第58回構造工学シンポジウム」

土木部門プログラム

1. 主催 — 日本学術会議 土木工学・建築学委員会, 土木学会, 日本建築学会
2. 開催日 — 2012年4月14日(土) - 15日(日)
3. 会場 — 東京工業大学大岡山キャンパス (〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1)
4. 参加費 — 無料, 参加自由
5. 開会式
日時: 2012年4月14日(土) 15:00~15:10
会場: 東京工業大学 西9号館デジタル多目的ホール
挨拶: 和田章 (日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長)
 舘石和雄 (土木学会構造工学論文集編集小委員会委員長/名古屋大学)
司会: 吹田啓一郎 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員主査/京都大学)
6. 特別講演会
日時: 2012年4月14日(土) 15:10~16:10
会場: 東京工業大学 西9号館デジタル多目的ホール
講師: 西川孝夫 (首都大学東京名誉教授)
題目: 「地震被害からの教訓は生かされてきたか」
司会: 吹田啓一郎 (前掲)
7. 土木・建築合同パネルディスカッション
「東日本大震災から得た教訓と今後の構造工学」
日時: 2012年4月14日(土) 16:15~18:15
会場: 東京工業大学 西9号館デジタル多目的ホール
主旨説明: 前田匡樹 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事/東北大学)
パネリスト: 平石久廣 (日本建築学会災害委員会委員長/明治大学)
 北村春幸 (東京理科大学)
 根木貴史 (国土技術政策総合研究所)
 杉山俊幸 (山梨大学)
司会: 元結正次郎 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事/東京工業大学)
 佐々木栄一 (土木学会構造工学論文集編集小委員会幹事長/東京工業大学)
8. 懇親会 (交流会)
日時: 2012年4月14日(土) 18:30~20:00 (予定)
場所: 東京工業大学大岡山キャンパス 100周年記念館「角笛」(予定)
詳しくはシンポジウム受付時にお渡しする予定の案内をご覧ください。
事前申し込みは必要ございません。
9. 構造工学論文集 Vol.58A の販売
受付にて販売いたします。郵送も承ります。定価 6,000 円 (送料別)
10. 問い合わせ先 (事務局) — 土木学会研究事業課 増永克也
(TEL 03-3355-3559, E-mail struct-eng@ac-research.jp)

土木部門プログラム(建物は東京工業大学大岡山キャンパス・西9号館)

	第1会場(W933)	第2会場(W934)	第3会場(W 935)	第4会場(W936)
4月14日 (土)	鋼・木構造 9:45~11:15 座長:小室 雅人	構造安定・耐荷力 10:00~11:00 座長:松村 政秀	流体関連振動・風工学(1) 10:00~11:00 座長:八木 知己	振動・振動制御(1) 9:45~10:45 座長:深田 幸史
	橋梁制震・免震(1) 11:25~12:10 座長:三上 卓	合成・複合構造(1) 11:10~12:10 座長:大山 理	流体関連振動・風工学(2) 11:10~12:10 座長:八木 知己	振動・振動制御(2) 10:55~12:10 座長:小幡 卓司
	休憩 12:10~13:20			
	橋梁制震・免震(2) 13:20~14:05 座長:姫野 岳彦	合成・複合構造(2) 13:20~14:05 座長:三ツ木 幸子	構造力学・構造工学一般 13:20~14:05 座長:水澤 富作	設計工学 13:20~14:05 座長:吉田 郁政
	招待論文 14:15~14:45 座長:三上 卓			
	開会式 15:00~15:10			
	特別講演会 15:10~16:10			
	パネルディスカッション 16:15~18:15			
	交流会 18:30~20:00			
	4月15日 (日)	維持管理(1) 9:15~10:30 座長:穴見 健吾	衝撃問題(1) 9:15~10:30 座長:今野 久志	橋梁床版(1) 9:15~10:30 座長:川井 豊
維持管理(2) 10:40~12:10 座長:貝沼 重信		衝撃問題(2) 10:40~12:10 座長:藤掛 一典	橋梁床版(2) 10:40~12:10 座長:岩崎 正二	橋梁耐震(2) 10:40~12:10 座長:高橋 良和
休憩 12:10~13:20				
維持管理(3) 13:20~14:35 座長:宮下 剛		地中構造・基礎構造 座長:新井 泰 地震工学 座長:紺野 克昭 13:20~14:05 計算力学・材料力学 14:15~14:45 座長:富山 潤	コンクリート構造 13:20~14:35 座長:佐藤 靖彦	橋梁耐震(3) 13:20~14:20 座長:葛 漢彬

第1日：4月14日（土）

第1会場：西9号館 W933 号室

9:45～11:15 鋼・木構造

座長：小室 雅人（室蘭工業大学）

(11-1) Traditional construction technology of China timber arch bridges

○Yan Yang・Shozo Nakamura・Baochun Chen・Takafumi Nishikawa

(11-2) 木質土木構造物の接合具としてのラグスクリューと異形棒鋼の引抜性能

○千田知弘・佐々木貴信・野田龍・三浦靖浩

(11-3) 充填樹脂が木部材ボルト接合部に与える効果に関する検討

今井富士夫・○外菌洋平・田中耕太・尾上幸造・飯村豊

(11-4) 無機ジンクリッチペイント面とそれと異なる接合面処理がなされた高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力試験

○丹波寛夫・木村聡・杉山裕樹・山口隆司

(11-5) 目違がある鋼桁フランジ横突合せ溶接部の疲労強度特性

坂野昌弘・○山岡大輔・水野哲也

(11-6) XFEM による板曲げを受ける面外ガセット溶接継手部の疲労き裂進展経路シミュレーション

木下幸治・○荒川慎平

11:25～12:10 橋梁制震・免震(1)

座長：三上 卓（群馬工業高等専門学校）

(8-1) アルミニウム合金製 BRB の低サイクル疲労特性

○舟山淳起・今瀬史晃・宇佐美勉・王春林

(8-2) サブストラクチャ応答実験による高機能座屈拘束ブレースの地震時応答解析

○渡辺孝一・吉野廣一・篠田将旭・山口亮太

(8-3) 履歴型ダンパー機能を有する鋼管集成橋脚の地震応答特性

○篠原聖二・金治英貞・鬼木浩二・杉浦邦征

第1日：4月14日（土）

第1会場：西9号館 W933 号室

13:20～14:05 橋梁制震・免震(2)

座長：姫野 岳彦（(株)川金コアテック）

(8-4) 繊維部材による免震支承の減衰性能向上に関する検討

○滝本和志・若原敏裕・山田博・岩本朋久

(8-5) 皿バネボルトセットを用いた摩擦型ダンパーの性能評価

○武田篤史・佐野剛志

(8-6) パッシブ型負剛性摩擦ダンパーの適用による鉄道橋の耐震性評価

○池田学・豊岡亮洋・松本信之・市川篤司・長谷川淳史・西村昭彦・家村浩和

14:15～14:45 招待論文講演

座長：三上 卓（群馬工業高等専門学校）

(8-0) 免震・制震手法による長大橋の耐震性能向上技術の発展と将来

○家村浩和

第1日：4月14日（土）

第2会場：西9号館 W934 号室

10:00～11:00 構造安定・耐荷力

座長：松村 政秀（大阪市立大学）

(2-1) 山形鋼部材からなる小型送電鉄塔の耐荷力特性に関する研究

○松村政秀・畠中彬・山口隆司

(2-2) ラジアルゲート開閉時における脚柱耐荷力の実験法

○塩竈裕三

(2-3) 曲げモーメントを受ける部材の照査に関する考察

○山口栄輝・山田啓太・高間徹

(2-4) 軸部にスリットを設けた M12 高力ボルトの引張およびせん断破断実験

松村政秀・○石原和之

11:10～12:10 合成・複合構造(1)

座長：大山 理(大阪工業大学)

(13-1) 鋼・コンクリート接触面の腐食の発生・進展に関する実験的研究

○中島章典・倉持弥奈・出川佑莉・磯光夫

(13-2) 鋼箱桁橋と RC 柱の結合部に用いるアンカービーム定着構造に関する実験的研究

○斉藤雅充・南邦明・横山秀喜・林川俊郎・八巻康博・水野浩

(13-3) 鋼・コンクリート合成床版に適用する高耐久スタッドの開発

○吉田賢二・稲本晃士・松井繁之・東山浩士・街道浩

(13-4) 鋼橋の複合構造化に使用する速硬軽量コンクリートの硬化時におけるひび割れ挙動に関する検討

○谷口望・吉田直人・杉野雄亮・佐竹紳也・大久保藤和・小出宜央・大垣賀津雄

第1日：4月14日（土）

第2会場：西9号館 W934 号室

13:20~14:05 合成・複合構造(2)

座長：三ツ木 幸子(石川工業高等専門学校)

(13-5) Numerical Study on Hybrid Structures Renovated from the Old Railway Steel Bridges

○Weiwei Lin・Teruhiko Yoda・Nozomu Taniguchi・Norio Koide

(13-6) 高力ボルト摩擦接合された GFRP 部材の摩擦挙動および最大強度に関する力学的考察 ○橋本国太郎・杉浦邦征

(13-7) VaRTM 成形による箱形断面 CFRP 梁の曲げ挙動に及ぼす積層構成の影響

○櫻庭浩樹・松本高志・堀本歴・林川俊郎

第1日：4月14日（土）

第3会場：西9号館 W935 号室

10:00~11:00 流体関連振動・風工学(1)

座長：八木 知己(京都大学)

(9-1) 実物大供試体を用いた橋梁の並列ケーブルのウェイクギャロッピング特性

久保義人・○結城洋一・石井博典・畠中真一・河藤千尋

(9-2) 橋桁周りの飛来塩分挙動推定に関する研究

○Ronald Chendra・勝地弘・山田均・佐々木栄一

(9-3) 六自由度飛行軌道解析による平板状飛散物の飛行性状の検討

○野田稔・長尾文明・政井一仁

(9-4) テンタゲートの動的安定判別のための鋼棒切断加振実験

○阿南景子・辻琢磨・石井徳章・奥達也・Charles W. Knisely

11:10~12:10 流体関連振動・風工学(2)

座長：八木 知己(京都大学)

(9-5) 複数列配置された太陽光発電用ソーラーパネルの風力係数に風向角が及ぼす影響の一検討

○池田博嗣・木村吉郎・小林平・加藤九州男・久保喜延・池田浩一

(9-6) 乱れの小さい気流中における傾斜角 10 度の地上設置型太陽電池アレイの空力特性

○伊藤靖晃・野澤剛二郎・菊池浩利

(9-7) 着氷時の 4 導体送電線のギャロッピング観測結果とその発現条件の考察

○松宮央登・西原崇・清水幹夫・雪野昭寛

(9-8) 着氷雪送電線の定常空気力係数への初期着氷雪角度の影響

○西原崇・清水幹夫・松宮央登

第1日：4月14日（土）

第3会場：西9号館 W935 号室

13:20~14:05 構造力学・構造工学一般

座長：水澤 富作(大同大学)

(1-1) 軸対称荷重を受ける 2 層円筒シェルの変位波伝播

○石丸和宏

(1-2) 種々の面外荷重を受ける弾性基礎にある厚肉平板の三次元応力解析

名木野晴暢・○大川菜友子・樋口理宏・足立忠晴・水澤富作・三上隆

(1-3) 溶接中および冷却過程における鋼材の変形・ひずみ挙動の光学的全視野計測と三次元熱弾塑性 FE 解析

○出水享・松田浩・藤野義裕・伊藤幸広・趙程

第1日：4月14日（土）

第4会場：西9号館 W936 号室

9:45~10:45 振動・振動制御(1)

座長：深田 宰史(金沢大学)

(5-1) 反共振周波数に着目したはりの損傷位置同定に関する基礎的研究

○内藤英樹・大竹雄介・渡邊孝和・鈴木基行・中野聡・岩城一郎・木皿尚宏

(5-2) 構造モデルの並列演算型実時間動的応答シミュレータの FPGA への実装

○五十嵐晃・間嶋純一

(5-3) 構造物に作用する動的風荷重のリアルタイム推定

○湊順子・澤田祐一

(5-4) 鋼トラス橋の部材破断が橋梁および走行車両の加速度応答に及ぼす影響

○山本亨輔・伊勢本遼・大島義信・金哲佑・杉浦邦征

10:55~12:10 振動・振動制御(2)

座長：小幡 卓司（大阪府立大学工業高等専門学校）

(5-5) 水平歩行外力の提案式と神経振動子に組み込んだ歩道橋の動的応答解析

○米田昌弘

(5-6) 炭素繊維複合材ケーブルの減衰自由振動特性に関する基礎的研究

中村一史・○中川康治・田島遼・前田研一・張治成・謝旭・榎本剛・牛島健一

(5-7) 人道吊橋の振動計測におけるスマートセンサーの適用と耐低温測定システムの開発

○宮森保紀・坂和平・大島俊之・三上修一・山崎智之

(5-8) PC 連結桁橋の構造条件が車両走行時の動的応答に与える影響

○角本周・深田幸史・松永昭吾・西村一朗

(5-9) RC 中空床版橋周辺の地盤振動対策と路面評価

○浜博和・深田幸史・阿川清隆・岡田裕行・梶川康男・樺山好幸

第1日：4月14日（土）

第4会場：西9号館W936号室

13:20~14:05 設計工学

座長：吉田 郁政（東京都市大学）

(4-1) ラフ集合における決定ルール分析法適用に関する一考察

○保田敬一・白木渡

(4-2) 橋梁維持管理計画における費用均等化へのゲーム理論の適用

○喜多敏春・近田康夫

(4-3) 重要土構造物の耐震信頼性の実用的評価法に関する検討

○大鳥靖樹・石川博之・高尾誠・酒井俊朗

第2日：4月15日（日）

第1会場：西9号館 W933 号室

9:15~10:30 維持管理(1)

座長：穴見 健吾（芝浦工業大学）

(10-1) Estimation of Effective Prestress based on Stress-releasing Method and FEM Analysis of the Method

○Yulong Zheng・Kenji Kosa・Yasuo Fukunaga・Masao Kusano

(10-2) 鉄道合成桁ソールプレート溶接部の疲労対策

○丹羽雄一郎・松本健太郎・矢島秀治・小林裕介

(10-3) 開床式下路トラスにおける縦桁横桁連結部の疲労き裂対策

○勝山真規・関口琢己・谷利晃・小林裕介

(10-4) CFRP 板接着による疲労き裂の補修工法における養生中の繰返し荷重と架橋効果の検討

○林帆・中村一史・前田研一・福田欣弘

(10-5) 溶接継手止端部に生じる局部応力の簡易推定法の提案とそれによる疲労強度評価

○館石和雄・判治剛・成瀬渉・伊藤功・崔誠珉

10:40~12:10 維持管理(2)

座長：貝沼 重信（九州大学）

(10-6) 凍結防止剤の飛散と鋼橋の腐食

○岩崎英治・永藤壽宮・湯浅昭・西剛広

(10-7) 局所および広域解析を組み合わせた付着塩分量推定法に関する研究

○小畑誠・李国泰・渡辺泰成・後藤芳顕

(10-8) 鋼トラス橋の上弦材側格点部の腐食計測とその腐食形態の特徴

野上邦栄・○山本憲・山沢哲也・依田照彦・笠野英行・村越潤・遠山直樹・澤田守・有村健太郎・郭路

(10-9) 沿岸海域で腐食した円形鋼管杭の現場での超音波板厚計測の信頼性とそれに基づく残存強度評価

○藤井堅・海田辰将・佐竹亮一・時乗良彦

(10-10) リベット頭部が腐食損傷したリベット集成 I 桁の曲げ挙動に関する実験的研究

○堀嗣輔・橋本国太郎・山口隆司・杉浦邦征・三ツ木幸子

(10-11) 鋼橋桁端部腹板の腐食に対する CFRP を用いた補修工法の実験的研究

○奥山雄介・宮下剛・若林大・小出宣央・秀熊佑哉・堀本歴・長井正嗣

第2日：4月15日（日）

第1会場：西9号館 W933 号室

13:20~14:35 維持管理(3)

座長：宮下 剛（長岡技術科学大学）

(10-12) 既設鋼鉄道橋における鋼桁・橋台・盛土一体化構造の温度変形特性

○小林裕介・杉本一朗・横山知昭・須賀基晃・栗山亮介・館山勝

(10-13) 橋梁用耐火パネルの性能評価

○柳澤則文・越後滋・長谷亮介・大山理・栗田章光

(10-14) 基礎変位鉄塔のボルト滑りを考慮した耐荷力解析法に関する検討

○山崎智之・河原章夫・高橋圭一・本郷榮次郎・中村秀治

(10-15) 橋梁損傷度判定における複合特徴選択のための実用的なアンサンブルシステムの提案

中津功一朗・古田均・野村泰稔・高橋亨輔・○石橋健

(10-16) 鋼小片から製作した試験片によるシャルピー衝撃試験に関する研究

○小野潔・穴見健吾・及川光晴

第2日：4月15日（日）

第2会場：西9号館 W934 号室

9:15~10:30 衝撃問題(1)

座長：今野 久志（寒地土木研究所）

(15-1) 繰返し衝撃荷重を受ける鉄筋コンクリート版の押抜きせん断抵抗性能評価に関する実験的研究

○松林卓・岩波光保・川端雄一郎・横田弘

(15-2) 鉄筋コンクリート梁の動的せん断耐力に関する研究

○藤掛一典・讚岐正太郎・福田貴志・宮川正樹・Bing Li

(15-3) Fundamental study on evaluation of deflection of H-beam under impact load aimed for the performance based design

○Kritsada Srihow・Hiroshi Masuya・Akira Sato・Sachio Nakamura

(15-4) 支持条件と版厚が鉄筋コンクリート版の衝撃耐荷挙動に及ぼす影響

○岸徳光・三上浩・栗橋祐介

(15-5) 衝撃緩衝機能を有する落橋防止連結板装置に関する実験的考察

10:40~12:10 衝撃問題(2)

座長：藤掛 一典（防衛大学校）

- (15-6) 数値流体シミュレーションによる流体衝撃力評価に関する基礎的研究
○浅井光輝・別府万寿博・石川信隆・眞鍋慶生・斉藤展・丹羽一邦
- (15-7) 重錘落下衝撃荷重を受ける 1/2 スケール RC 製ロックシェッド模型に関する数値解析的検討
○岸徳光・牛渡裕二・今野久志・山口悟・川瀬良司
- (15-8) 爆土圧を受ける鉄筋コンクリート版の破壊シミュレーション
○別府万寿博・長坂悠司・片山雅英・伊東雅晴
- (15-9) 敷砂緩衝材の緩衝特性に関する重錘落下衝撃実験
○今野久志・岸徳光・西弘明・山口悟・岡田伸之
- (15-10) 連続衝撃荷重荷時の実規模 RC 桁に関する数値シミュレーション
○岸徳光・今野久志・山口悟・三上浩・武田雅弘
- (15-11) 大型 RC スラブ模型に関する衝撃応答解析手法の妥当性検討
○山口悟・岸徳光・西弘明・今野久志・武田雅弘

第2日：4月15日（日）

第2会場：西9号館 W934 号室

13:20~14:05 地中構造・基礎構造／地震工学

座長：新井 泰（鉄道総合技術研究所）／紺野 克昭（芝浦工業大学）

- (14-1) 粘性土改良体を用いた地下構造物耐震補強の効果に関する水平載荷試験による検討
○浦野和彦・足立有史・西村毅・河邑眞
- (6-1) 2011 年東北地方太平洋沖地震における藤沼ダムでの地震動の評価
ー 海溝型巨大地震へのサイト特性置換手法の適用 ー
○秦吉弥・中村晋・野津厚
- (6-2) 計測データに基づく堤体変位と振動特性を考慮したアーチダムの地震応答解析
○大熊信之・松田泰治・西内達雄・松井淳・金澤健司・永田聖二・池田浩一

14:15~14:45 計算力学・材料力学

座長：富山 潤（琉球大学）

- (3-1) コンクリート構造物の劣化評価における表面法の適用に関する数値解析的検討
○鎌村友美・吉田秀典・中川裕之・長尾和明
- (3-2) 集合体要素を用いた礫中詰材の単純せん断抵抗力解析
○堀口俊行・澁谷 一・香月智

第2日：4月15日（日）

第3会場：西9号館 W935 号室

9:15~10:30 橋梁床版(1)

座長：川井 豊（日本大学）

- (16-1) 床版橋台側のノージョイント化に関する数値解析的検討
○塚田宗政・斉木功・山田真幸・岩熊哲夫
- (16-2) 合成床版合成桁の負曲げ部ひび割れ幅に関する実験と解析
○上條崇・利根川太郎・湯川雅之・長井正嗣・工藤晃也
- (16-3) 床版取替用プレキャスト合成床版の合理化継手の疲労耐久性評価
○水野浩・松井繁之・大西弘志・杉山俊幸・街道浩
- (16-4) 24年供用した鋼コンクリート合成床版の重錘落下たわみ法による評価
○関口幹夫・橋 吉宏
- (16-5) 衝撃振動試験および動たわみ測定による実橋 RC 床版の健全度評価
○宮村正樹・岩崎正二・出戸秀明・加藤哲・早坂洋平

10:40~12:10 橋梁床版(2)

座長：岩崎 正二（岩手大学）

- (16-6) 各種ジョイント付き CFRP 補強床版の疲労耐久性
○関口幹夫・橋原正周・堀川都志雄
- (16-7) SFRC 上面増厚補強 RC 床版の輪荷重走行疲労実験による S-N 曲線式の提案
○阿部忠・木田哲量・水口和彦・児玉孝喜

- (16-8) 上面補修した RC 床版の耐疲労特性に関する実験的研究 ○三田村浩・赤代恵司・松本高志・松井繁之
- (16-9) 乾燥・湿潤状態で接着剤を塗布した SFRC 上面増厚補強法の耐疲労性の評価
○伊藤清志・阿部忠・児玉孝喜・山下雄史・一瀬八洋
- (16-10) CFS・CFSS 補強した RC 床版の補強効果および耐疲労性
○元燦豪・阿部忠・木田哲量・高野真希子・小森篤也
- (16-11) PVA 短繊維および軽量骨材を用いた RC 床版の疲労耐久性評価に関する検討
○野々村佳哲・中村拓郎・田口史雄・栗橋祐介・岸徳光

第 2 日：4 月 15 日（日）

第 3 会場：西 9 号館 W935 号室

13:20~14:35 コンクリート構造

座長：佐藤 靖彦（北海道大学）

- (12-1) 塩害劣化を受ける鉄筋コンクリート梁の耐荷性能に関する実験的研究 ○松田耕作・横田優・米澤和宏・松島学
- (12-2) Analysis of crack propagation behavior in concrete due to multi-rebar corrosion
○Khoa Kim Tran・Hikaru Nakamura・Minoru Kunieda・Naoshi Ueda
- (12-3) ASR 供試体を用いた長期劣化度の評価 ○草野昌夫・幸左賢二・合田寛基・柴田綾野
- (12-4) 磁気法による鉄筋破断非破壊検査における判定基準の構築
○廣瀬誠・前田龍己・松田耕作・横田優・服部篤史・宮川豊章
- (12-5) PVA 短繊維混入による RC 柱の靱性向上効果 ○栗橋祐介・岸徳光・三上浩・田口史雄

第 2 日：4 月 15 日（日）

第 4 会場：西 9 号館 W936 号室

9:15~10:30 橋梁耐震(1)

座長：葛西 昭（熊本大学）

- (7-1) 局部座屈が生じた円形断面鋼製橋脚の修復方法に関する研究 ○嶋口儀之・鈴木森晶・太田樹・青木徹彦
- (7-2) コンクリートが部分的に充填された鋼製橋脚の耐震性能 ○木野村宏昭・堂垣正博
- (7-3) 角部に腐食損傷を有する矩形鋼製橋脚の水平 2 方向挙動に関する研究
○永田和寿・加藤慶太郎・杉浦邦征・橋本国太郎・北原武嗣
- (7-4) 円形鋼製橋脚の局部座屈部に生じた一つの延性破壊現象に関する解析的検討 ○藤原英之・小畑誠・後藤芳顕
- (7-5) 異なる溶接仕上げと未溶着高さを有する鋼厚肉断面梁-柱隅角部の繰り返し弾塑性解析
速水景・○鈴木俊光・岩田勝成・葛漢彬

10:40~12:10 橋梁耐震(2)

座長：高橋 良和（京都大学）

- (7-6) 柱部の鉄筋に丸鋼を用いた鉄筋コンクリート橋脚の履歴特性
○澤松俊寿・三田村浩・西弘明・松本高志・加保勇介
- (7-7) 段落し部の補強が実施された RC 橋脚の曲げ耐力・変形能補強に関する実験的研究 ○張広鋒・星隈順一・塚淳一
- (7-8) 先端拡大アンカーを用いた既設土留め壁付き柱の耐震補強に関する実験的研究
○羅休・岡本大・京野光男・西村昭彦・星秀朋・三澤清志・小林悟史
- (7-9) 道路橋の津波による被害分析 ○清水英樹・幸左賢二・佐々木達生・竹田周平
- (7-10) Damage Judgment of Utatsu Bridge Affected by Tsunami due to Great East Japan Earthquake
Li Fu・○Kenji Kosa・Hideki Shimizu・Zhongqi Shi
- (7-11) 津波により桁流失した床版橋の再現解析と水路実験 ○坂本佳子・原田隆典・村上啓介・福田利紀・野中哲也

第 2 日：4 月 15 日（日）

第 4 会場：西 9 号館 W936 号室

13:20~14:20 橋梁耐震(3)

座長：葛 漢彬（名城大学）

- (7-12) 3 方向地震動を受ける正方形断面鋼製橋脚の限界状態の評価法 ○後藤芳顕・海老澤健正
- (7-13) 不整形地盤における鋼斜張橋の耐震性能向上対策 ○杉岡弘一・島賢治・松下裕明

(7-14) BRB による鋼製剛結トラスの耐震性向上効果 ○今瀬史晃・舟山淳起・宇佐美勉・王春林・野中哲也・菅付紘一

(7-15) 震源断層近傍における鋼アーチ橋の応答特性と耐震補強法

○児玉喜秀・原田隆典・野中哲也・中村真貴・宇佐美勉